

組織部・活動のまとめと、今年の方針

矢 崎

今年の活動

組織の問題

1、各会クラブの会員を増やす

- ・会員の自発性、自立性を引き出して、魅力ある会活動をつくる。これができれば会員が増えるし、また増やせる
- ・各会ホームページ開設や、県連のホームページに各会の紹介

2、労山クラブの無い地域にクラブをつくる

3、青年の関心のある行事を企画し、その継続の中から青年を組織する

4、個人会員制の検討

1～3が、今年の県連の課題であった。1では、魅力ある会活動をつくるため、1月20日は栃木の野木山想会を招いて経験交流集会を行なったが、今年はそのような活動は不十分だった。ホームページの開設努力も十分ではなかった。

今年の方針

- 1、については、大阪府連盟で昨年1年間で100人以上の会員を増やした。これらの経験に学び会員を増やす活動を行なう
- 2、3については、具体的論議を進めて、結果を出せるようにしたい
- 4、については、東京で別紙のような取り組みを始めるので、研究したい。実務は全国連盟ですべて行う。この中にある都連盟費の840円は、全国連盟から都連盟に支払われる。